

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 7 年 8 月 1 日

所在地 山梨県山梨市下石森 694

企業名 株式会社エムアンドエー

山梨カープレス産業

代表者 代表取締役 雨宮昌彦

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の企業理念である「秀麗富士を望む甲府盆地のほぼ中央に位置し、葡萄を代表とする果樹王国山梨において、長年の信頼と実績に培われた自動車の解体・リサイクル事業を通じて、地球環境への負担をできる限り低減し、循環型社会の形成に貢献します」を礎とし、持続可能な社会の発展に寄与し、SDGs の達成に向けて、事業活動に取り組めます

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 8 月 1 日	
✓環境 ✓社会 ✓経済	使用済み自動車の解体業務のなかで、より多くの自動車部品の生命(いのち)を延ばす取り組みとリサイクルを実施 部品としての再使用や原材料としての再資源化であり、廃棄物の適正処理とマニフェスト管理を確実に 行って、“取り出した部品”をリサイクル	使用済み自動車の 全部再資源化率 現状 : 20% 2030 年 : 35%	シュレッダーダストを発生させない方法で使用済み自動車を解体し、全てを再資源化するように努めたが、市況の悪化により全部再資源化にまわすことが出来なかった	(進捗率) 8.40%
✓環境 ✓社会 ✓経済	動作確認・整備を実施し、より良いリユース部品の販売	販売数 (月平均) 現状 : 90 2030 年 : 120	リピートのお客様が増えるように、販売部品の整備に努めた	(進捗率) 81.7%
✓環境 □社会 □経済	事業活動との統合を図った環境マネジメントシステムの運用	現状 : 年 1 回の受審 2030 年 : 認証登録の継続	審査機関の審査を受けて、認証登録を継続した	(進捗率) 100%

2030 年の目指す姿

使用済み自動車の解体・リサイクル事業を通じて、地球環境への負担をできる限り低減し、循環型社会の形成に寄与することで、山梨がより豊かになる地域社会づくりに貢献する事業活動を行っている

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第 3 号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件 2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて** 重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。